

月報

# フルードパワー

No. 274 2022. 4. 30

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354  
西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地  
川崎重工業（株）精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内  
TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

### 第93回理事会開催

第93回理事会が、4月22日（金）の15:30～16:50までの間、「ザ・プリンスさくらタワー」（高輪）2階カンファレンスフロアで開催されました。まず、はじめに事務局より、理事総数28名に対し、本理事会に出席理事17名及び監事2名の出席があり、過半数が出席していることから、当会の定款第31条に定めるところにより本理事会が有効に成立する旨を報告しました。安藤議長は、理事会開会を宣言し、以下の挨拶を行いました。



### 主　要　目　次

ISSN. 1345-2371

第93回理事会の開催 ······ 1

委員会開催・活動状況	会員ニュース ······ 5
標準化事業 ······ 3	今後の主要行事日程 ······ 5
技術調査事業 ······ 5	月間行事概要 ······ 7
国・関連団体等会議 ······ 5	統計資料 ······ 8

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

「本日はご多忙のなか、第93回の理事会にご出席いただき誠にありがとうございます。さて、私が会長となりまして、早2年になろうとしております。工業会の会長の任期は2年でありますので、来月の総会・理事会をもって、交代となるのではないかと思います。この2年間はコロナ感染防止対策のために、当工業会の活動も大分制限されておりました。今日は、その中の活動報告をさせていただきますが、概ね計画を達成できたのではないかと思っております。これからも、色々知恵を絞り、withコロナ、afterコロナ社会での活動を進めていきたいと考えております。しかし、今年になって、予想もしていなかった大変な事態が勃発しております。2月末に、ロシアがウクライナに軍事侵攻し、日本を含め世界がロシアに経済制裁を科す中で、エネルギー価格の高騰や昨年来続いている材料不足が一層深刻になり、経済への悪影響を懸念しているうちに、中国のゼロコロナ施策によって、上海などが閉鎖され、上海の企業活動の停止や物流の停滞などが新たに発



生し、日本企業にも多大な悪影響が出てきております。この解除の見通しが立たない状況であり、一層の不安定要素になってきております。工業会としては、この状況を注視していくだけしかできませんが、正確な多くの情報を会員の皆様に届けるよう努力していきたいと考えております。」

続いて、ご来賓として安田篤経済産業省産業機械課長から、御挨拶と最近の政策動向について、ロシア・ベラルーシ向け輸出禁止措置、サイバーセキュリティ対策強化、省エネ法の一部を改正する法律案、取引適正化に向けた5つの取組、特定技能外国人材制度の現状、標準必須のライセンスに関する誠実交渉指針について説明されました。

安藤会長は、議事録署名人として会長である本人と監事の向氏、古川氏を指名し、会長として最近の業務の執行概要を報告した後、審議に入る旨の宣言を行い、事務局に第1号議案の説

明を求めました。事務局は、2021年度事業報告書及び決算報告書（案）を資料1号に基づき、次のように報告しました。「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が2021年3月21日をもって終了したことから、従来通りの活動ができる期待して始まった2021年度であったが、年度初めの4月23日に再度宣言が発出され、数度にわたる延長の後、9月末まで続いた。このような状況下のため、工業会活動は、2020年度に引き続き、リモートワークや時差通勤、WEB会議の活用など、新型コロナ感染防止対策を行った中での事業となった。特に、1年延期されたIFPEX2021の実施を危ぶむ声もあったが、緊急事態宣言が終了したこともあり、関係者のご尽力によって、なんとか開催にこぎつけた。決算としては、会費を25%削減したが、事業活動収支差額が約40万円の黒字となった。」次いで、議長は監事による監査報告を求め、向監事から「適正である」旨の監査報告がありました。議長が第1号議案を議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。

次に議長は、第2号議案 2021年度理事・監事会費預り金収支報告書（案）について事務局に説明を求めました。事務局は、資料2号に基づき、これを説明した後、議長が議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。

続いて、第3号議案として、2022年度予算見直し（案）について事務局が説明し、議長が第3号議案を議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。更に、第4号議案として第23回定期総会開催について説明を行い、議長がこれを議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。その他、事務局から、報告事項として、今年度は理事・監事の改選期であるので、理事交代の希望がある方は、事務局に連絡してほしい旨お願いし、続いて、2022年・年度の需要予測結果について報告しました。

最後に、専務理事の業務報告があり、議長から議案審議をすべて終了したことの宣言があり、理事会は閉会しました。

理事会終了後、宮内副会長の乾杯のご発声の後、簡単な懇親会が和やかに行われました。



#### 2020 年度の業務・会計監査の実施

日 時 4月 18 日（月）15：00～16：00

場 所 当会会議室

出席者 向監事・古川監事

事務局 藤原、饗庭、

2022 年度事業及び決算に関する監査が 4 月 18 日（月）に当会会議室で行われました。当日は、大生工業㈱の向社長及び古川税理士の両監事に対し事務局から「2022 年度の 1. 事業報告書、2. 貸借対照表、3. 正味財産増減計算書、4. 財産目録、」5. 収支計算書、6. 財務諸表・収支計算書に対する注記(附属明細書)の(案)を詳細に説明した。

その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

#### 委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

標準化事業

~~~~~

#### 空気圧調質機器分科会

日 時 4月 5 日(火)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 土岐主査以下 5 名(うちリモート:5)

事務局 前畠

議 事

委員の交代があり、TAIYO：宮本秀樹委員から高橋佑司委員に交代された。また、委員の新規に、アズビルTACO：赤羽啓一委員が就任された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、

ISO/TC131/SC5/CIB:WG5 コンベナー新任賛否投票→賛成、ISO/TC131/SC5/decision2\_2022：新規プロジェクト案件の登録賛否→賛成、で投票したこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、当分科会が関連する ISO/TC131/SC5/WG5 会議は 5/3 に開催予定のこと。

次いで、ISO\_20145\_Annex (サイレンサ規格：日本提案) の原案に関して、規格内容の検討を行った。

次いで、JIS\_B8372-1 (空気圧一空気圧フィルター第1部：供給者の文書に表示する主要特性及び製品表示要求事項) の改正必要性有無について検討した。その結果、対応国際規格 (ISO\_5782-1) の改訂内容が軽微であり、JIS 改正の必要性なしとの結論となった。

次回開催：8月 24 日、機械振興会館＋リモート

#### 油空圧継手・ホース分科会

日 時 4月 6 日(水)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 岩崎主査以下 6 名(うちリモート:6)

事務局 前畠

議 事

委員の交代があり、ニッタ：小山修平委員から塩田憲史委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR\_1179-3：定期見直し投票→継続 (Confirm)、ISO/SR\_9974-4：定期見直し投票→継続 (Confirm)、で投票したこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/FDIS\_6149-1 : FDIS 投票→承認 (Approval)、ISO/DIS\_1179-2 : DIS 投票→承認 (Approval)、ISO/SR\_4397 : 定期見直し投票→継続 (Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、4/21 開催予定の ISO/TC131/SC4/WG6 国際会議（ウェブ会議）のアジェンダについて確認し、情報共有した。

次いで、3/30 開催の JIS 原案作成委員会の報告があり、JIS\_B2355-2 (油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-0 リングシールによるメートルねじポート及び継手端部-第 2 部：高压用 (S シリーズ) 継手端部-寸法・設計・試験方法・要求事項) の改正原案の審議がなされたとのこと。

次いで、JIS 原案作成委員会にて受けた指摘事項の修正作業を行った。

次回開催：7月 26 日、機械振興会館＋リモート

## 空圧信頼性分科会

日 時 4月 12 日(火)、13:30～16:00  
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート  
出席者 妹尾主査以下 8名(うちリモート:8)  
事務局 前畠  
議 事

委員の交代があり、アズビルTACO：川端啓之委員から鷺野向一委員に、CKD：吉田重和委員から伊藤圭祐委員に、TAIYO：中古弘委員から水野義宣委員に、各々交代された。

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。また、2/24開催のISO/TC131/WG4国際会議（ウェブ会議）の報告があり、情報共有した。

次いで、改正中のJIS\_B8672-1（空気圧－試験による機器の信頼性評価－第1部：通則）について、日本規格協会からの指摘事項に関して検討した。

次回開催：7月 12 日、機械振興会館＋リモート

## 油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 4月 19 日(火)、13:30～16:00  
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート  
出席者 難波主査以下 5名(うちリモート:5)  
事務局 前畠  
議 事

委員の交代があり、MORESCO：三好真介委員から阪口拓也委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/TR\_6057：発行のWG投票→賛成、ISO/CD\_4407：ドラフト案のWG投票→反対、ISO/DIS\_4405：AnnexA改訂とFDIS移行のWG投票→賛成、で投票したこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/DIS\_11500：DIS投票→賛成、ISO/WD\_21018-1：CD移行のWG投票→賛成、ISO/WD\_4021.2022：WD案承認のWG投票→賛成、ISO/DIS\_23369：DIS投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。また、4/7開催のISO/TC131/SC6/WG1国際会議の報告があり、情報共有した。

次いで、JIS\_B9933（油圧－作動油－固体微粒子に関する汚染度のコード表示）の改正について、対応国際規格（ISO\_4406:2021）と比較しながら原案作成作業を実施した。

次いで、ISO\_18413 (Hydraulic fluid power – Cleanliness of components – Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting)

のJIS制定について、原案作成作業を行った。次回開催：7月 5 日、機械振興会館＋リモート

## 空気圧バルブ分科会

日 時 4月 20 日(水)、13:30～16:00  
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート  
出席者 山崎主査以下 7名(うちリモート:7)  
事務局 前畠  
議 事

主査の交代があり、TAIYO：石毛浩二旧主査からSMC：山崎慎也新主査に交代された。また、委員の交代があり、CKD：夏目清辰委員から伊藤新治委員に、TAIYO：石毛浩二委員から谷口恵亮委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。また、5/3開催予定のISO/TC131/SC5/WG3国際会議（ウェブ会議）のアジェンダの内容確認し、情報共有した。

次いで、ISO\_5599-3廃止に伴うJIS\_B8375-3(空気圧用5ポート方向制御弁－第3部：弁機能伝達用コード体系)の処置について討議した。その結果、対応国際規格（ISO\_5599-3）の廃止理由を調査した上で再検討することとなった。

次回開催：8月 3 日、機械振興会館＋リモート

## 空気圧流量測定分科会

日 時 4月 26 日(火)、13:30～16:00  
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート  
出席者 妹尾主査以下 10名(うちリモート:10)  
事務局 前畠  
議 事

委員の交代があり、TAIYO：水上秀彦委員から平田敏忠委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC9/WG2/N199：エネルギー効率フランス規格案に対する賛否の投票→コメント付き賛成、で投票したこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、3/16開催のISO/TC131/SC9/WG2国際会議の報告があった。また、6/1開催予定の同国際会議および5/3開催予定のISO/TC131/SC5/WG3国際会議のアジェンダを確認し、情報共有した。

次いで、JIS\_B8390-1（空気圧－圧縮性流体用機器の流量特性試験方法－第1部：通則及び定常流れ試験方法）の改正について、対応国際規格（ISO\_6358-1）と比較しながら修正作業を行った。

次回開催：7月 27 日、機械振興会館＋リモート

#### \* ISO の動き

- ・ISO 中央事務局より対面あるいはハイブリッド形式にて会議を開催する場合、参加者の投票が必要との通達が出ている。
- ・2022 年の ISO/TC131 国際会議は、春季（5 月）：ウェブ会議、秋季（10 月）：日本・姫路、で計画されている。

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

#### 技術委員会空気圧部会第 589 回特許分科会

日 時 4 月 22 日（金）13：30 ~ 15：00

場 所 Web 会議

出席者 今野幹事以下 4 名

事務局 吉田

#### 議 事

前回議事録を確認した。公報の検討と無効理由調査について 4 件について引き続き調査を行うこととした。

2021 年度収支明細、2022 年度予算案について確認し、承認された。

次回開催：5 月 13 日（金） Web 会議

#### 水圧部会

日 時 4 月 26 日（火）、10:00~12:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 6 名（うちリモート：6）

事務局 前畠

#### 議 事

委員の交代があり、三輪精機：岩佐光浩委員から茂木健委員に、また、豊興工業：渡邊宣尚委員から石丸典幸委員に交代された。

前回議事録の確認後、今年度活動計画の具体的な内容について討議した。広報（PR）グループは、水圧ブログ作成について作成担当順を決定すると共に、それに従い原稿作成し PR グループで確認後ホームページに掲載することとした。また、市場調査（MR）グループは、年間の展示会情報から視察対象の展示会をピックアップすると共に、それに従い適宜視察メンバーを選定し視察・情報収集することとした。

次回開催：7 月 6 日、機械振興会館＋リモート

~~~~~

#### 国・関連団体等会議

~~~~~

#### 工作機械関係団体情報交換会

開催日 4 月 28 日

場所 日本工業大学 工業技術博物館

出席者 藤原

#### 議事

「工作機械を中心とする工業技術博物館の概要と着任しての気付」について、日本工業大学工業技術博物館館長清水伸二氏の講演の後、博物館内を見学した。工作機械の歴史の中で、油圧の役割等についても、意見交換を行った。

~~~~~

#### 会員ニュース

~~~~~

#### ☆贊助会員入会

下記企業が賛助会員として入会されました。

入会日：2022 年 3 月 22 日

会社名：株式会社産業経済新聞社

所在地：東京都千代田区大手町 1-7-2

代表者：事業本部 本部長 伊藤富博

#### ☆社長交代

(株) 島津製作所から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

2022 年 4 月 1 日付

（新 任）

代表取締役社長 山本 靖則

~~~~~

#### 今後の主要行事予定

~~~~~

#### ☆5 月 19 日（木）第 23 回定時総会・懇親会

（時 間）15:30~16:50：定時総会

17:00~19:00：懇親会

（場 所）東京プリンスホテル（芝公園）

#### ☆5 月 20 日（金）第 60 回 JFPA 懇親ゴルフ会

（場 所）横浜カントリークラブ

~~~~~

4 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）

~~~~~

#### （標準化事業）

#### 空気圧調質機器分科会

開催日 4 月 5 日（火）

出席者

主　查　土岐真人（コガネイ）	〃　石毛浩二（T A I Y O）
委　員　赤羽啓一（アズビルT A C O）	〃　谷口惠亮（T A I Y O）
〃　檜垣匡光（SMC）	空気圧流量測定分科会
〃　阪上隆之（甲南電機）	開催日 4月 26 日(火)
〃　國崎雄嗣（CKD）	出席者
〃　宮本秀樹（T A I Y O）	主　查　妹尾満（SMC）
〃　高橋佑司（T A I Y O）	委　員　川端啓之（アズビルT A C O）
特別参加 小田敏裕（甲南電機）	〃　森本光一（コガネイ）
油空圧継手・ホース分科会	〃　大竹崇（CKD）
開催日 4月 6 日(水)	〃　水上秀彦（T A I Y O）
出席者	〃　平田敏忠（T A I Y O）
主　查　岩崎宏文（イハラサイエンス）	〃　浅里信之（ニッタ）
委　員　金城良（東京計器パワーシステム）	〃　高沢清継（日本ビスコ）
〃　小山修平（ニッタ）	〃　香川利春（東京工業大学）
〃　塩田憲史（ニッタ）	〃　眞田一志（横浜国立大学）
〃　辻田智（日東工器）	(技術調査事業)
〃　石井克昌（横浜ゴム）	技術委員会空気圧部会第 589 回特許分科会
〃　石附高（日本ホース金具工業会）	開催日 4月 22 日(金)
〃　横岡慎吾（ブリヂストン）	出席者
空圧信頼性分科会	幹　事　今野英俊（コガネイ）
開催日 4月 12 日(火)	委　員　井野雅康（SMC）
出席者	〃　安田善仁（甲南電機）
主　查　妹尾満（SMC）	〃　瀧　芳久（CKD）
委　員　鷺野向一（アズビルT A C O）	水圧部会
〃　吉田重和（CKD）	開催日 4月 26 日(火)
〃　伊藤圭祐（CKD）	出席者
〃　中古弘（T A I Y O）	部会長 内田晃（日本アクチュエータ）
〃　水野義宣（T A I Y O）	委　員　船坂新（川崎重工業）
〃　中曾根祐司（東京理科大学）	〃　茂木健（三輪精機）
〃　眞田一志（横浜国立大学）	〃　石丸典幸（豊興工業）
油圧フィルタ・作動油分科会	〃　田邊康伸（廣瀬バルブ工業）
開催日 4月 19 日(火)	〃　神田健一（丸山製作所）
出席者	空気圧バルブ分科会
主　查　難波竹己（日本ポール）	開催日 4月 20 日(水)
委　員　遠藤剛（SMC）	出席者
〃　水落桂（大生工業）	主　查　山崎慎也（SMC）
〃　長谷川康憲（油研工業）	委　員　田路渡（甲南電機）
〃　阪口拓也（M O R E S C O）	〃　保坂周一（コガネイ）
空気圧バルブ分科会	〃　夏目清辰（CKD）
開催日 4月 20 日(水)	〃　伊藤新治（CKD）
出席者	
主　查　山崎慎也（SMC）	
委　員　田路渡（甲南電機）	
〃　保坂周一（コガネイ）	
〃　夏目清辰（CKD）	
〃　伊藤新治（CKD）	

~~~~~

## 月間行事概要

~~~~~

<4月>

5日(火)

- ・標準化(委)空気圧調質機器分科会

6日(水)

- ・標準化(委)油空圧継手・ホース分科会

12日(火)

- ・標準化(委)空気圧信頼性分科会

19日(火)

- ・標準化(委)油圧フィルタ・作動油分科会

20日(木)

- ・標準化(委)空気圧バルブ分科会

22日(金)

- ・技術(委)空気圧部会第589回特許分科会

26日(火)

- ・技術(委)水圧部会

- ・標準化(委)空気圧流量測定分科会

---

### ☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

### ☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---